

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績1

事業者	団体名	きなんせ鳥取 素ら一めんの会	代表者	田川 武史
事業内容	助成事業名	鳥取素ら一めんイベントPR事業		
	事業目的	<p>県中部の牛骨ラーメンに続き、鳥取市のご当地ラーメンとして60年以上前から地元鳥取市で愛されている和風ダシが特徴の「鳥取素ら一めん」を取り上げ、各地のイベントや催事に出展することで、鳥取にしかない独自の食の面白さやおいしさなどの魅力を発信し、鳥取市をPRすることで将来的な地域活性化につなげる。</p>		
	事業の内容	事業中止		
	実施場所		実施日	
	対象者		参加人数	
	事業の成果			
	今後の活動の展望			
	費用	総事業費		助成金額

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績2

事業者	団体名	くらし安心まもり隊	代表者	西村 嘉章
事業内容	助成事業名	市民のための生活情報無料講座事業		
	事業目的	市民のための生活の中で、不安やトラブルなどが少なくなることを目的として、月に2回の無料講習会(テーマは随時変更)を公民館等で行い、有資格者(専門家)が講師を務め、生活に必要なと思われる情報提供の場とし、専門家を身近に感じていただき、市民の方の後悔などが少なくなる状態としたい。		
	事業の内容	<p>・先進医療、学資保険、節約、空き家活用法、マイホーム借上げ制度、認知症、永代供養、子育て、資産管理の注意点、葬儀、検察庁の業務をテーマに無料講習会の開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>マイホーム借上げ制度 中村 一弘(外)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11月23日 10:00~12:00 Beeゼミナール湖山校</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>知っておきたいお墓の知識 山本義明(外)</p>  </div>		
	実施場所	湖山西地区公民館、浜坂地区公民館、美保球場会議室ほか	実施日	平成24年6月18日から平成25年3月23日 15回開催
	対象者	不特定多数の市民	参加人数	延べ84人
	事業の成果	参加者からは、「知らなかったことが分かった」、「トラブルの防止に役に立つ」との言葉と、質疑応答をヒントに、「早速実行しました」との御礼をいただいた。		
	今後の活動の展望	今後は、集客、講師等の手配をスムーズに行うことが課題である。25年度も継続して開催を予定している。		
費用	総事業費	96,998	助成金額	96,000

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績3

事業者	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	奥谷 仁美
事業内容	助成事業名	おやこで楽しむ大道芸ワークショップ		
	事業目的	サーカスをはじめとしたさまざまなジャンルで世界的に活躍している一流のエンターティナーの技を直接指導していただけるめったにない機会。鳥取のこどもたちに新しいことに挑戦したりプロの技を身体全体を使って体験することを通して、自主性や主体性を伸ばしたり、技ができるようになる達成感を味わってほしい。		
	事業の内容	<p>一輪車及びサーカスワークショップ ※一輪車世界チャンピオンによる指導。</p>   		
	実施場所	湖山西体育館	実施日	平成24年6月23日、6月24日
	対象者	4歳から大人まで (市民)	参加人数	一輪車 28人 サーカス 45人
	事業の成果	代表のチーキーさんがこどもたちに「失敗しても大丈夫。やればできっと出来る」とずっと励ましてくれた言葉に子どもたちは勇気をもらえたと思う。		
	今後の活動の展望	子どもの頃に一流の技を見てそれを体験できるという経験は必ず役に立つと思われる。今後もこのような貴重な体験活動を続けていくことが重要である。		
費用	総事業費	231,274	助成金額	181,000

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績4

事業者	団体名	若葉台おやじの会	代表者	下地 正之
事業内容	助成事業名	若葉台ふるさと環境学習(ビオトープ再生)事業		
	事業目的	<p>ビオトープは今から10年前、同会発足時に小学校と協力して造ったものだが、経年経過により水が干上がり、このままでは環境学習として利用することが不可能となっている。同事業にて根本的に再生することにより、環境学習の継続と更なる発展を目指す。</p>		
	事業の内容	<p>ビオトープの再生</p>   		
	実施場所	若葉台小学校・前庭	実施日	平成24年10月21日
	対象者	教職員、保護者、児童、おやじの会	参加人数	25人
	事業の成果	<p>○「新生ビオトープ」が完成したことにより、主に3、4年生を対象にした環境学習「ビオトープレポート(観察記録)」が再開される運びとなり、今後環境についての認識が深まることと思われる。 ○予定していた参加者数を下回り(保護者・児童)改めて学校行事に対する意識の低さを(現状)痛感することとなった。</p>		
	今後の活動の展望	<p>ビオトープを完全に再生させるため、さらにヨシ・ヒシ等の水生植物を植栽し充実を図ります。 定期的環境授業に参加し、児童と共にビオトープの「成長」及び「変化」を見守りたいと思います。なお、今後の活動状況については、おやじの会ホームページ「ビオトープだより」にて報告、公開します。</p>		
費用	総事業費	150,332	助成金額	118,000

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績5

事業者	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッション	代表者	清水 増夫
事業内容	助成事業名	小谷承靖監督と歩く「父の暦」探訪ツアー		
	事業目的	<p>谷口ジロー作「父の暦」の映画化に向けて、作品に対する市民の関心を高めるとともに、映画化への気運を盛り上げるため、作品に登場する舞台を巡る探訪ツアーを行う。</p> <p>ツアーのナビゲーターとして、昨年朗読劇「父の暦」を演出・プロデュースした映画監督の小谷承靖氏に参加してもらい、参加者と再び感動を分かち合う。</p>		
	事業の内容	<p>作品に登場する舞台を巡る探訪ツアー</p>   		
	実施場所	鳥取市立歴史博物館、樗谷公園、グランドアパート、大黒湯、高砂屋ほか	実施日	平成25年10月14日
	対象者	一般市民	参加人数	43人
	事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民の方に「父の暦」の舞台を巡ってもらい、映画化への関心を持つきっかけが出来た。 ・地元出身の漫画家・谷口ジロー氏の地元での知名度の向上となった。 ・父の暦に続く地元を舞台にした作品や谷口ジロー氏の他の作品を購読するきっかけとなった。 		
今後の活動の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「父の暦」の映画化への応援 ・谷口ジロー氏と同氏の他の作品のPR及び関連イベントへの発展 ・「まんがによる地域振興」の盛り上げ 			
費用	総事業費	243,291	助成金額	169,000


平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績6

事業者	団体名	鳥取ホルソバ カスタマーセンター	代表者	田中 玄洋
事業内容	助成事業名	2012鳥取ホルモン焼きソバまつり		
	事業目的	鳥取市の魅力アップと観光振興を図るため、鳥取市のソウルフードである「ホルモン焼きソバ」を市民とともに楽しみ、その魅力を共有して広域にわたる情報発信と地域の自慢を創る。そのため、当団体加盟の飲食店と連携した「ホルモン焼きソバ」の食べ比べや、団体オリジナルの商品発表及び販売、娯楽性のあるイベントを行う。		
	事業の内容	鳥取ホルモン焼きソバまつり   		
	実施場所	西町緑地	実施日	平成25年10月28日
	対象者	市民ほか	参加人数	約700人 来場者
	事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・天候不順にもかかわらず多くの来場をいただいた。 ・年齢問わず「ホルモン焼きソバ」を食べており、鳥取のご当地グルメとして、鳥取の食文化として市民に定着していると感じた。 ・チラシには、市内に点在する当センター加盟店26店舗が記載されており、スタンプラリーにより各店舗の味の違いや個性を楽しんでもらうことと共に、鳥取の食文化として意識するきっかけとなった。 ・事業運営にあたっては、会員・ボランティアが一体となって運営することができ、市民団体としての活動を活発にする良いきっかけとなった。 		
今後の活動の展望	鳥取ホルモン焼きソバを広めるきっかけとしてこのイベントが今後も継続して開催できるよう会員及び加盟店の増加を図り、協賛金、自己資金を充実させ自主運営ができるよう努めたい。また、他のイベント等にも積極的に参加し関連団体とのネットワークを図り、鳥取の食文化の情報発信と活性化に努めたい。			
費用	総事業費	266,126	助成金額	200,000

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績7

事業者	団体名	雑がたり実行委員会	代表者	八百谷 和子
事業内容	助成事業名	第3回 お雑さまエッセイ&絵てがみコンクール		
	事業目的	<p>鳥取県無形民俗文化財は用瀬町の宝だが、その認識は限られている。全国コンクールを開催することで「流し雑の里 用瀬町」をアピールしたい。</p> <p>第1回は、約7割が高校生以下の応募だった。第2回では、作品展を実施して小中学生の参加を促した。このコンクールを契機として子どもたちに家族の絆を再確認してもらいたい。</p>		
	事業の内容	<p>お雑さまエッセイ&絵てがみコンクール 1. 審査会 2. 雑がたり 3. 表彰式</p> 		
	実施場所	鳥取中央郵便局ほか	実施日	<p>募集:平成24年12月1日～平成25年2月18日 審査会:平成25年2月24日 結果発表:平成25年3月3日</p>
	対象者	小学生未満児～大人	参加人数	<p>応募1,520通 (エッセイ455通、絵てがみ1,065通)</p>
	事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年初めて海外から5通の応募があった(インド3、フランス1、韓国1)。 ・初めて中国の方が応募してくれた。 ・facebookでの広報により、5名エッセイを送ってくれた。 <p>コンクールが世界中へ広がり始めた気がする。</p>		
	今後の活動の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「雑がたり」を3年以内にカーネギーホールで開催し、日本人の心を世界中に伝えたい。 ・ソーシャルメディアを活用して活動に広がりを持たせたい。 		
費用	総事業費	494,343	助成金額	200,000

平成24年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績8

事業者	団体名	東中校区心豊かな子どもを育てる会	代表者	中西 照典
事業内容	助成事業名	子育て・親育てを推進する地域づくり		
	事業目的	<p>地域での児童・生徒の健全育成を推進するため、幅広い方が目にする立て看板を設置し啓発につなげる。また、地域での子育てを通して住民が一つとなり、地域活性化を目指す。</p> <p>保護者・地域の方が標語を考える中で「家庭で地域で何が必要なのか？」を問い直す機会となり、問題意識も共有し「親育て」につなげる。</p>		
	事業の内容	<p>立て看板の標語募集及び設置</p> 		
	実施場所	東中校区設置(修立地区4枚、稲葉山地区7枚、岩倉地区5枚)	実施日	平成24年12月～平成25年2月(看板設置)
	対象者	東中校区内児童・生徒・保護者、住民	参加人数	95人(応募)
	事業の成果	<p>・立て看板の標語・キャッチフレーズ募集を学校だけでなく地域にも呼び掛けることにより当会の活動及び事業の主旨を理解してもらうことが出来、さらに多くの参加・協力が得られ、幅広い啓発活動の成果が得られた。</p>		
	今後の活動の展望	<p>・今後も地域・学校・家庭が一つになり健全育成を目指した活動の一環として、立て看板による『地域で取り組む子育て・親育て』の啓発活動を継続していきたい。</p>		
費用	総事業費	121,245	助成金額	96,000